

笹川保健財団 地域啓発活動助成

(西暦) 2020 年 8 月 6 日

公益財団法人 笹川保健財団
会長 喜多悦子 殿

2019 年度地域啓発活動助成

活 動 報 告 書

標記について、下記の通り活動報告書を添付し提出いたします。

記

活動課題 「在宅ケアを考へる地域住民の研修会」

活動団体名：

一般社団法人 ちせ

活動者（助成申請者）名：

代表理事 片岡 順子

活動報告書

1. 活動の内容・実施経過

活動テーマ『「在宅ケアを考える地域住民の研修会」』

当事業所が所在する町内会（令和2年1月現在120戸）は、高齢者世帯の占める割合が高いこともあり、開業1年目に町内会の高齢者クラブからの要望を受け、「介護保険について」のミニ講座を同クラブの例会にて行った。しかし、今年度で開業4年目が経過したが、想定以上に事業所への認知が低く、訪問看護の必要性があっても具体的な申請方法や活動内容が分からず、利用を躊躇するといった声も聞かれるようになっていた。

こうした声に応えるために、実際の訪問活動の様子を動画に編集し、事業所の活動紹介として町内会住民をはじめ、地域の皆さま方にお知らせする機会を得ていたが、残念ながら新型コロナウイルスの感染拡大対策として、開催延期を余儀なくされている。

2. 活動の成果

プログラムの一環として、業者を招いての「福祉用具・介護用品の展示コーナー」の設置や、感染症対策として手洗いチェッカーを活用しての「手洗いのデモンストレーション」を体験してもらうことにより、地域住民の関心の底上げも期待できた。

3. 今後の課題

町内会と連携し、コロナの終息状況を見計らった時期の開催を目指していくが、会場のコミュニティーセンターの利用は再開となっているにもかかわらず、町内会の行事活動が中止のままとなっているため、開催日時が定められない状況にある。

また、連帯感を図る意味でも、訪問活動の動画モデルを町内会住民に依頼したい考えである。しかし、事業の趣旨に賛同をいただき、動画モデルとなり得るかは別であるため、今後も通常の訪問活動をとおして丁寧な対応が求められる。

4. 活動の成果等の公表予定（学会、雑誌）

地元新聞社に取材を依頼する。